

クラックヒーリング工法

【NEXCO:ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材 1種・3種 適合】【国土交通省:土木補修用エポキシ樹脂注入材 1種・3種 適合】



特長

クラックヒーリング工法は、コンクリート構造物のひび割れ部にエポキシ樹脂系注入材を自動式低圧注入器等を用いて注入する工法です。注入材は、圧縮・引張等の機械的強度に優れ、高い接着性を発揮するため、コンクリート構造物と一体化し、高い防水効果が期待できます。

- ① JIS A 6024 「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂」 注入エポキシ樹脂—硬質形—低粘度形 に準拠しています。
- ② 国土交通省 土木補修用エポキシ樹脂注入材 1種 に適合しています。
- ③ 農林水産省 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル 樹脂系ひび割れ注入工法 に適合しています。
- ④ NEXCO 構造物施工管理要領 ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材 1種 に適合しています。
- ⑤ 橋梁や農業水利施設、ボックスカルバートなど幅広いコンクリート構造物に適合しています。
- ⑥ 注入材 (CH-E10) は湿潤面においても施工可能で、硬化・接着不良を起こさず、良好な接着性を発揮します。

物性

物性値一覧

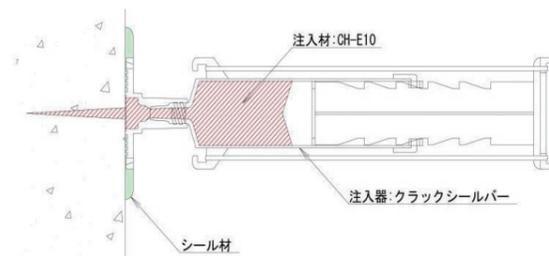
JIS A 6024 規格値 (抜粋)		国土交通省 規格値 (抜粋)		
項目	特性値	項目	特性値	
比重	1.11	粘度	810cps	
圧縮強さ	68.0N / mm ²	可使用時間	140分	
引張強さ	43.0N / mm ²	硬化時間	10時間	
接着強さ	標準条件	7.4N / mm ²	硬化収縮	0.0%
	湿潤条件	4.8N / mm ²	付着力耐久性保持率	98%

※ 上記の値は、試験結果の代表値であり、品質保証値および規格値ではありません。

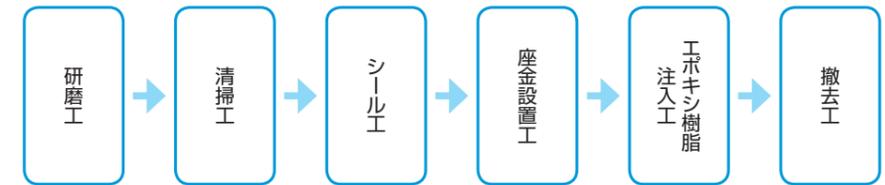


【クラックシールバー】
※ 注入器

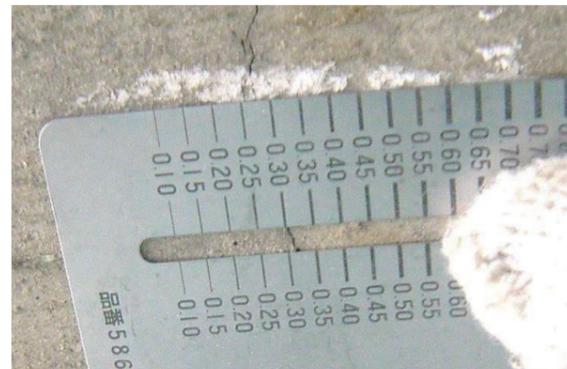
断面図



施工フロー



施工事例



①ひび割れ調査



②シール工
座金設置工



③エポキシ樹脂注入工



④養生



⑤施工完了

- 表面補修
- 目地補修
- 表面防食
- 防火水槽
- 道路橋
- 熱水洗浄
- 汚れ防止
- 施設点検
- その他
- 新材料

- 表面補修
- 目地補修
- 表面防食
- 防火水槽
- 道路橋
- 熱水洗浄
- 汚れ防止
- 施設点検
- その他
- 新材料